

【講演テーマ】
虐待対応プログラム BEAMS Stage I
子ども虐待の早期発見、

医療と地域でできること

【講師】 愛媛県立中央病院 小児科主任部長 山本 英一先生

2019. **11.23** (土祝)

受付開始時間 10:00
講演時間 10:30~11:30

総合病院 南生協病院
コープ健診フィットネスセンター3階会議室BC
住所 名古屋市緑区南大高二丁目204
(JR南大高駅降りてすぐ)

参加費 100円 (受講証・資料代)

生涯教育制度 日本医師会生涯教育講座の申請をします
カリキュラムコード 72

申込先) 申込締切日2019年11月8日(金) (※日付が過ぎてご希望の方は下記までお問合せください)
総合病院 南生協病院 医局事務局 浅田へ申込書(裏面)をFAX
または下記へメールで申込内容をお送りください。

※また、託児希望の方は申込書の託児希望確認内容を記入または、メールにてご連絡ください。
注) 託児対象は生後6か月~10歳以下を対象とします。恐れ入りますが、希望者が多い場合はお受けできない場合がございます。

TEL 052-625-0373 / FAX 052-625-0534
E-mail ikyoku-jimukyoku2@minami.or.jp

わが子を守りますか

虐待の勉強会を開催します。小児虐待のケースで見落としをなくし、早期に対応できるように医療現場でまた、地域のネットワークで行いたいと考えます。そこで、テーマとして、「子ども虐待の早期発見、医療と地域でできること」を講話いただきます。

今回は日本子ども虐待医学会 (JaMSCAN) に依頼し、医療機関向け虐待対応啓発プログラム (BEAMS) に遵守しています。

内容は、虐待対応プログラム BEAMS Stage 1 で、子どもに接する全ての職員を対象に、虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel (見張り番) となることを目標にします。このStage 1 受講者は、2019年4月1日現在、全国で10,245人おります。

「子ども虐待の解決を目的として我々に出来ること。」

虐待発見を早期に見出し、地域へつなげるとともに適切な医学的診断を行うことは、我々に課せられた極めて重要な使命です。BEAMSプログラムは、3ステージで構成される、医療機関での虐待対応の発見・教育・ヒアリングのプログラムです。各々の立場で定められている、子ども虐待に対応するための基礎知識やスキルを身につけることが可能です。

BEAMS

すべての人が大切なキープレイヤー
[Childfirst] この気持ちをなくす鍵は全員それぞれが鍵で、それぞれの役割を。

Stage 1: すべての医療関係者
Stage 2: CPTメンバー 小児科医
Stage 3: CPTリーダー 医師 虐待専門医

BEAMSは、医療機関の虐待対応の在り方を正しく理解していただくためのプログラムであると同時に、それを広げ共有していくためのムーブメントです。ごく一部の担当者だけが講習を行うのではなく、プログラムを終了した受講者の中から、次のトレーナー候補を募り、トレーナー認定を行い、質の担保を図るとともに、少しずつ仲間を呼び、全国に広げていきたいと思います。

Stage 1: BEAMS for All Medical Personnel

このStageは受講者が、虐待の早期発見と通告の意義を理解し、医療機関での虐待のSentinel (見張り番) として、適切な行動がとれるようになることが目標です。プログラムは講義形式で、最初の構成を45分に設定しています。ランチを取りながら和やかな雰囲気で行う形式など、地域や各施設のニーズに応じて柔軟に対応することで、一人でも多くの医療関係者に子ども虐待について考えさせられることを目指します。

Stage 2: BEAMS for Pediatrician and CPT members

このStageは、受講者が虐待児の安全を確保し、地域へ届け、医学的診断をネットワークに提供出来るようになることが目標です。小児科医やCPTのメンバー医師が対象ですが、虐待につきより深く学びたいその他の職員も受講可能です。プログラムは講義形式で、最初の構成を90分に設定しています。各施設のCPTのスキルアップのために、基本スキルは講義が伝統をたがった柔軟に出発する形を想定しています。地域のニーズに応じて柔軟に対応が可能です。全ての二次医療機関での虐待対応能力の向上がなされていくことを目指します。

Stage 3: BEAMS for Child Abuse Medical Leaders

このStageは受講者が、虐待対応の医療的リーダーシップを発揮出来るようになることが目標です。Stage 1・2の講義を終了したCPTのリーダー医師や、子ども虐待に専門性の高い医師 (子ども虐待専門医) を目指す医師を対象としています。多忙な医師でも可能な限り都合をつけやすいように、土日を利用した日半のプログラムとなっています。座学を主体的に受講するのではなく、模擬したロールプレイや討論の場で積極的に参加し、専門性の高い医師として地域に貢献するために求められる役割について理解していただくことを目指します。

すべてのStageを終了した医師には、個々の事例への対応にとどまらず、地域の虐待対策に貢献し、医療機関でのリーダーシップを発揮することが望まれます。その際、研修で得た専門性の高い医師としての力が、貴重な財産となるでしょう。

BEAMSの詳細についてはHPへ <http://beams.childfirst.or.jp/>



申込書 小児虐待勉強会 (11/23)

↓↓ 申込内容必須項目 ↓↓

所属団体

・ 学校名

参加者氏名

(フルネーム)

連絡先

託児希望の方へ

託児対象は生後6か月～10歳以下を対象とします。

恐れ入りますが、希望者が多い場合はお受けできない場合がございます。

当日持ち物は普段外出時に必要なもの (例えばおむつや着替え・飲み物 (食事・おかし不可)) をお持ちください。会場での食事は禁止となります。

託児希望確認 記入必須

○で囲ってください

あり・なし

※「あり」の方に質問です

託児希望のお子さんの

人数 () 人

年齢・性別 (歳 男・女)

年齢・性別 (歳 男・女)

年齢・性別 (歳 男・女)

→ 兄弟姉妹全員の年齢と性別をご記入ください